

QoI 使用ガイドライン

作成年月日：2017年5月8日、2017年10月6日更新

作成者：Japan FRAC QoI 作業部会

対象とする有効成分：

作用機構	作用点とコード	グループ名	化学グループ名	有効成分名	農薬名(例)	耐性リスク備考	FRACコード
C:呼吸	C3:複合体Ⅲ ユビキノール酸化酵素 Qo部位	QoI殺菌剤 (Qo阻害剤)	メキシアカリレート	アゾキシストロビン	アミスター	高 複数の耐性菌が発生。グループ内で交差耐性がある。	11
				ピコキシストロビン	メジャー		
			メキシアセトアミド	マンデストロビン	スクレア		
			メキシカーバメート	ピラクロストロビン	ナリア、シグナムの成分		
			オキシミノ酢酸	クレソキシムメチル	ストロビー		
				トリフロキシストロビン	フリント		
			オキシミノアセトアミド	メミノストロビン	オリブライト、イモチエース		
				オリサストロビン	嵐		
			オキサゾリジンジオン	ファモキサドン	ホライズンの成分		
			ジヒドロジオキサジン	フルオキサストロビン	ディスアーム		
イミダゾリノン	フェンアミドン	ビトリーン					
ベンジルカーバメート	ピリベンカルブ	ファンタジスタ					

作物別使用ガイドライン：

1. 野菜類

(1) 使用回数

*QoI 単剤および混合剤(以下、QoI 剤という)の1作期あたりの総使用回数(以下、総使用回数という)は3回までとする。

*1作期あたりの殺菌剤の使用回数に対するQoI 剤の総使用回数は、以下のガイドライン表のとおりとする。

殺菌剤の総使用回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	≥10
QoI 単剤の最多使用回数	1	1	1	1	1	2	2	2	3	3
QoI 混合剤の最多使用回数	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3

(2) 留意事項

*各薬剤の農薬登録の範囲(使用回数、希釈倍数、使用水量等)で使用する。

*予防的に使用する。

*防除対象の病害に有効な成分との混合剤を使用する。

*単剤と混合剤を併用する場合は、単剤のガイドラインに準ずる。

*QoI 剤を連続使用しない。

*作用機構の異なる殺菌剤と輪番で使用する。

*次作においても、前作からの輪番使用を継続する。

2. 果樹類

(1) 使用回数

*QoI 剤の最大使用回数は、合計使用回数の3分の1までとする。

*下記の病害を対象とする場合は、重点防除時期における使用回数を以下のガイドライン表のとおりとする。

作物・病害	重点防除時期における QoI 剤の最多使用回数
リンゴ黒星病	1
ナシ黒星病	2
カンキツ灰色かび病	1
ブドウべと病	1

(2) 留意事項

*各薬剤の農薬登録の範囲（使用回数、希釈倍数、使用水量等）で使用する。

*予防的に使用する。

*QoI 剤を連続使用しない。

*作用機構の異なる殺菌剤と輪番で使用する。

注意事項：

*本ガイドラインは、耐性菌の発生遅延化を目的としています。

*本ガイドラインは、使用する圃場において既に耐性菌が発生している病害には適用しません。

以上